



校訓 「自主」「親和」「健康」

スクールミッション（目指す学校像） 「笑顔！わくわくする学校！」

- 一人一人の障がいの状態等に応じて、その時に最も必要な教育を行うとともに、学んだことを生かしながら、自立と社会参加に向けて主体的に学び続ける幼児児童生徒を育てます。
- 家庭や地域、関係機関と連携し、協力して幼児児童生徒を育てるとともに、障がいのある者と障がいのない者が支え合い、認め合える社会の実現に向けた取組を推進します。
- 幼児教育施設、小・中学校、高等学校等とのつながり必要な支援に努めながら、地域の特別支援教育の推進に貢献します。

＜本校が目指す学校像＞

- 幼児児童生徒にとって、通いたいと思える学校
- 保護者にとって、安心して通わせられると思える学校
- 教職員にとって、働きがいのある学校
- 地域とともにある学校

【グラデュエーション・ポリシー】（育成を目指す資質・能力に関する方針）

- 健康でたくましく生きる力、安全な生活を送る力を育成します。
- 社会の中で生きていくために必要な学力や生活習慣を育成します。
- 様々な人とかかわることのできるコミュニケーション力や表現力を育成します。
- 他者への思いやりや感謝の気持ち、協調して取り組む力を育成します。

【カリキュラム・ポリシー】（教育課程の編成及び実施に関する方針）

- 健康で安全な生活を送ることができるよう、基本的生活習慣の確立と進んで運動に取り組む態度を育てる指導をします。
- ICTの活用や体験学習を通して、興味関心の幅を広げ、基礎的・基本的な知識及び技能を育てるとともに、自ら課題解決に向けて粘り強く取り組む態度を育てる指導をします。
- 地域の学校や社会とのかかわりの中で、生活するために必要な社会性や道徳心を育てる指導をします。
- 様々な人とかかわりを通して、他者の思いや考えを理解したり、自分の思いや考えを表現したりできるように指導します。
- 交流及び共同学習を積極的に推進し、幼稚園、小・中学校、高等学校等と連携した指導を行います。

幼稚部・小学部・中学部・寄宿舎（連携した指導や支援）

聾学校の強みや良さを生かす

- ・教育相談による早期教育
- ・個に応じた丁寧な指導
- ・ゲストティーチャーによる授業
- ・ボランティアによる支援
- ・保護者の学校への協力
- ・寄宿舎の有効活用

聴覚障がい教育の専門性を生かす

- ・聴覚障がいに関する知識
- ・補聴器・人工内耳の知識
- ・補聴援助システムの知識・技能
- ・聴力検査の知識・技能
- ・話し方や聴くことに関する指導
- ・発音・発語に関する指導
- ・手話や指文字等の知識・技能
- ・言語の習得に関する指導